

13. 防災

目指す姿

市民が本市の災害リスクを知り、生命・身体・財産を守る体制ができています。

現状

- 将来発生が予想される南海トラフ地震や奈良盆地東縁断層帯地震等により、橿原市においても大規模な被害となることが見込まれます。また、市内7河川の浸水想定は広範囲にわたっており、気候変動等により豪雨災害のリスクはさらに高まっています。
- 災害時に地域防災力が発揮されることは減災に大きく貢献します。自分や家族を守る自助、そして地域住民・企業等が行う共助は、大きな役割を担っています。
- 市民の生命・財産を守ることは行政の責務であり、災害時に必要となる施設の整備や機材及び物資の備蓄、災害対応体制の強化と職員の対応能力の向上、関係機関との連携を行っています。

課題

- 効果的な災害対策を実施するため、さまざまな災害のリスクを知る必要があります。
- 市民一人ひとりが高い防災意識を持ち、災害時には適切な行動に移せるよう、地域の防災力の向上を図る必要があります。
- 市民の生命・財産を守るためには、外部からの支援を受けるための体制整備や災害対応力の強化が求められます。



総合防災訓練の様子

関連する
SDGs



成果を測る指標

住んでいる場所の災害リスクを知り、備えができていない市民の割合

実績値 : 28.3%

取組みの方向性

方向性の説明

取組み例

主体的な活動体制の構築

災害のリスクを啓発し、地域がそれを活用するといった連携を図っていくことで効果的な災害対策に取り組めます。

- 災害リスクの啓発
- 防災マップ等の充実

★ 地域の防災力の向上

自分や家族を守る自助、そして地域住民・企業などが行う共助を主体とした地域の防災力の向上のため、防災講座等を通じた啓発を実施します。

- 防災知識の啓発
- 防災訓練の実施
- 小中学校等における防災教育

組織としての災害対応力の強化

災害対応に必要となる施設の整備、新たなニーズを踏まえた資機材や物資の継続的な備蓄、職員の災害対応能力の向上、災害対応体制の強化、及び受援体制の整備や消防力の強化に取り組めます。

- 消防団員の人材確保
- 消防団による防火啓発活動
- 消防団員の災害対応力の向上

関連する個別計画

▶ 橿原市地域防災計画

▶ 橿原市国民保護計画

14. 防犯

目指す姿

市民が防犯意識・消費者意識を自ら高め、犯罪が起こりにくい安全で安心な日常生活を送っています。

現状

- SNS の普及に伴い、投資やロマンス詐欺が増加しており、若年層から高齢者まで幅広い年代へ防犯意識向上のための啓発活動など、安全・安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行っています。
- インターネットの普及や高齢化社会の進展を背景に消費者トラブルなどの相談件数が年々増加し、複雑化しています。

課題

- 犯罪が起こりにくい社会を形成するため、警察署・関係機関などと連携し、市民の防犯意識を高める取り組みが必要です。
- 消費者トラブルを未然に防ぐための情報提供や啓発・消費生活相談を充実させ、消費者の安全・安心の確保に向けた取り組みが必要です。



防犯啓発のほり

関連する
SDGs



成果を測る指標

犯罪が起こりにくくなっていると感じている市民の割合

実績値 :14.5%

取組みの方向性

★ 防犯意識の向上

方向性の説明

防犯意識の啓発を行い、警察など関係機関や各種防犯活動団体との連携のもと、犯罪が起こりにくい環境や防犯施設の整備を行います。

取組み例

- 防犯意識の啓発
- 関係機関との連携
- 防犯に関する各種補助の実施

消費生活相談体制の充実

消費生活相談に対応する消費生活センター相談員のスキルアップを図ります。

- 消費者問題対策の啓発
- 消費者を守る制度等の積極的な情報提供
- 相談員の研修受講
- 消費者トラブルにおける相談や斡旋



15. 交通

目指す姿

自分に合った交通手段で、誰もが快適に市内を移動することができます。

現状

- 人口減少や自家用乗用車の普及等により公共交通の利用者は減少しています。
- 駐車場・自転車駐車場は公共交通機関への乗り継ぎ・乗り換え拠点として駅周辺の駐車・駐輪需要に応じた適正配置が重要です。
- 市内での交通事故は依然として後を絶ちません。

課題

- 自家用乗用車、バイク、自転車、徒歩での移動が習慣化している人にとって、公共交通を利用する機会は少ないです。また、鉄道駅やバス停から離れた地域にお住まいの方は公共交通が利用しにくい状況です。
- 自動車、自転車、バス、タクシー、鉄道等交通機関相互の連携機能の強化と、駅を中心とした良好な交通環境を維持するため、駐車場・自転車駐車場の適切な管理・運営と合理的な経営及び利便性の向上が求められます。
- 市内には交通安全対策が必要な危険箇所が点在しています。また、子どもが交通ルールについて学ぶ機会や、生活するなかで大人が交通ルールについて意識する機会が不足していることが課題です。



コミュニティバス

関連する
SDGs



成果を測る指標

自分に合った交通手段で、市内を快適に移動することができると感じる市民の割合

実績値 :42.8%

取組みの方向性

★ 公共交通の利用促進、公共交通の再編

適切な管理・運営と利便性の向上

危険箇所への対策、子どもが交通ルールを学ぶ機会の提供、大人が交通ルールについて意識する機会の提供

方向性の説明

交通事業者等と協力して公共交通の利用者を増やすための取組みを実施します。また、既存の公共交通を利用しにくい地域に新たな公共交通を確保するなど、公共交通の再編に取組みます。

従来 of 運営方法を抜本的に見直し、合理的かつサービスの維持・向上に資する運営を進めます。また、住民ニーズに応じた事業見直しに取組みます。

「通学路交通安全プログラム」などの取組みに基づき、学校、教育委員会、道路管理者、警察等が連携して危険箇所への対策を講じます。保育所・幼稚園・小学校等で交通安全教室を実施し、子どもの交通安全意識を醸成します。全国交通安全運動週間などの期間に啓発活動を行うことで、交通安全意識の向上を図ります。

取組み例

- 商業施設と連携した利用促進策の実施
- 新しい公共交通の検討

- 指定管理者制度[※]の導入
- 施設の適切な維持管理
- 事業の見直しに向けた計画策定

- 路面標示の新設や補修
- 交通安全教室の実施
- 交通安全啓発活動

関連する個別計画

▶ 橿原市移動等円滑化基本構想

▶ 橿原市地域公共交通計画

16. 道路・橋梁・河川

目指す姿

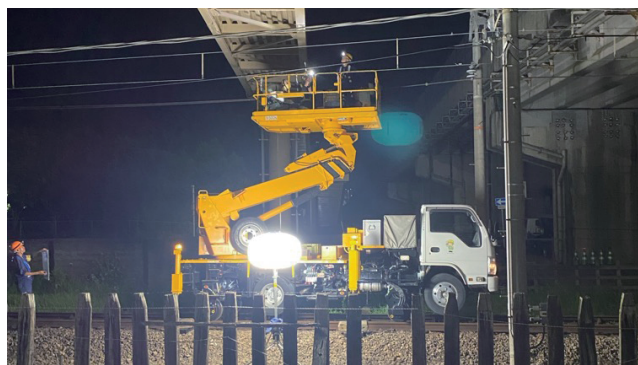
道路や水路が整備され、誰もが安心して暮らせる環境をつくっています。

現状

- 年々、市道の管理延長が増加する状況下で、交通量の増加に伴う道路損傷、経年劣化等による橋梁や道路施設の老朽化が進んでおり、維持修繕の必要箇所が増加しています。
- 狭あいな道路※については、歩行者の通行や緊急車両の通行に支障をきたしています。また、通学路等の危険な場所が存在しています。
- 主要幹線道路に未整備区間があるため、近隣の生活道路に慢性的な渋滞が発生しています。
- 排水路や雨水貯留施設※等の雑草の繁茂、土砂の堆積が増加しています。また、近年、頻発する記録的な豪雨等により、家屋への浸水や道路冠水の被害が増加しています。

課題

- 道路や橋梁、道路施設の状況を把握し、利用者が安全・安心に生活道路を利用できるよう、保全することが必要です。
- 狭あいな道路の解消や通学路の安全確保の取り組みにあたっては、地域のニーズに応じた整備を行うことが必要です。
- 道路ネットワークを早期に整備することが必要です。
- 排水機能を損なわないように、排水路や雨水貯留施設等の適切な改修や維持管理が必要です。排水施設の機能改善や地域全体での水害対策を行うことが必要です。



橋梁点検の様子

関連する
SDGs



成果を測る指標

道路と水路の環境が整備されていると感じる市民の割合

実績値 : 22.3%

取組みの方向性

道路環境の整備・
橋梁等の長寿命化

方向性の説明

道路の改良や橋梁並びに道路施設の定期点検・長寿命化修繕等、安全で利便性の高い道路環境の整備を計画的かつ効率的に実施します。

取組み例

- 道路等財産の適切な維持管理
- メンテナンスサイクル※に基づく橋梁並びに道路施設の長寿命化修繕

★ 道路の安全性の向上

地域住民や関係機関との連携を図り、交通安全施設の整備や注意喚起を促す路面標示等の効果的な安全対策を実施します。

- カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の整備
- 路面標示等の区画線設置

道路ネットワークの整備

近畿圏の環状道路となる京奈和自動車道の整備促進を図り、安全で快適な生活環境を確保します。

- 国・県等関係機関への働きかけ
- 道路新設・改良工事
- 橋梁整備工事

排水機能の確保及び 浸水・冠水被害の軽減

排水路や雨水貯留施設等の改修必要箇所の調査や定期的な除草、土砂の浚渫※作業等を実施します。また、公共下水道（雨水）計画に基づいた、雨水管路の整備を進めます。

- 排水路の整備・改修
- 雨水貯留施設や準用河川の除草や土砂の浚渫
- 雨水管路の整備・改修工事

関連する個別計画

- ▶ 社会資本総合整備計画

17. 住環境・建築

目指す姿

市民が住環境の心配ごとを相談でき、安心して暮らしています。

現状

- 人口減少等に伴い空家等※が増加しており、適正に管理されていない空家等が、周辺の住環境に悪影響を及ぼしています。
- 市営住宅の経年劣化による修繕等が日常的に必要となっています。
- 日本各地で大規模な地震による災害が頻発しており、本市でも南海トラフ巨大地震※等の大規模な地震が想定されています。

課題

- 空家等を早期発見・把握し所有者等に空家等の適正管理が必要であることに対する啓発・意識共有が求められます。また、流通困難な空家等については、流通を促進させるための支援が必要です。
- 老朽化が進む市営住宅の維持・管理に向け、さらなるライフサイクルコスト※の縮減に取り組む必要があります。
- 建築物の安全性確保のため、建築基準法及び関連規定を厳格に適用するとともに、激甚化する地震災害に備えるため、建築物の耐震化の促進が求められています。



空家等利活用再生事業「今井文庫」

関連する
SDGs



成果を測る指標

住環境について心配なことがあるときに相談できる環境が整っていると感じる市民の割合

実績値 : 13.2%

取組みの方向性

方向性の説明

取組み例

★ 適正な管理や利活用を促進する体制の構築

地域住民主体による住まいに関するネットワークづくりを支援します。また、空家等に関する相談会の開催や除却または利活用等に対する補助制度により、流通や利活用を支援します。

- 空家等の適正管理の促進
- 出前講座による制度普及
- 住宅・建築物相談会及び空家等相談会の開催
- 空家コーディネーター※の育成

計画的で効率的な維持管理

計画的に市営住宅の長寿命化やバリアフリー化、建替え等を行います。

- 市営住宅の適切な維持管理
- 長寿命化計画の策定

建築物の耐震化の促進

建築物の耐震補助制度により、建築物の耐震化を啓発・促進します。また、建築物の安全性の確保のため、建築基準法及び関連規定を厳格に適用します。

- 耐震化に関する啓発
- 建築物の耐震診断・耐震化等の支援
- 建築基準法に基づく適切な指導



関連する個別計画

- ▶ 社会資本総合整備計画
- ▶ 檀原市営住宅整備・管理計画
- ▶ 檀原市公共施設等総合管理計画
- ▶ 檀原市公営住宅等長寿命化計画
- ▶ 檀原市空家等対策計画
- ▶ 檀原市耐震改修促進計画

18. 地球環境

目指す姿

持続可能な社会の実現に向けて、みんなが環境を守る行動をしています。

現状

- 大和三山や飛鳥川、曾我川等の豊かな自然環境があります。
- 令和6(2024)年度に「橿原市地球温暖化対策推進実行計画」を改定し、令和12(2030)年の目標達成に向け、温室効果ガスの削減に努めています。

課題

- 豊かな自然環境を守るため、環境問題に対する市民意識の高揚に取り組むことが求められます。
- 市民をはじめとする多様な主体と連携し、地球温暖化対策を積極的に取り組むことが求められます。
- 近年の環境意識の高まりや指定ごみ袋による有料化等により家庭から排出される可燃ごみは年々減少傾向にあります。また、廃棄物を可能な限り資源として再生利用し天然資源の消費を減らすため、4R[※]を促進していますが、市内で発生する一般廃棄物の資源回収量と資源化率は低迷しています。
- 社会動向や事業効果を勘案しながら、ごみの排出量削減に向けた継続的な取り組みが求められます。また、ごみ分別排出や地域における再資源集団回収[※]の普及・促進を行っていますが、従来の取り組みとあわせて、さらなる有効な取り組みを実施することが必要です。



環境調査の様子

関連する
SDGs



成果を測る指標

日頃から環境に配慮した行動を取っている市民の割合

実績値 : 37.6%

取組みの方向性

方向性の説明

取組み例

環境教育・環境学習の実施

継続的に環境調査を実施するとともに、環境教育・環境学習を通じて、市民意識を高め、地域の特性に応じた環境保全活動を推進します。

- 環境教育・環境学習の実施
- 環境調査の実施

温室効果ガス排出量の削減

省エネルギーや再生可能エネルギー※利用を推進し、温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。特に、市役所業務での排出量の大半を占めるごみ処理において、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを活用し発電等を行います。

- 省エネルギーの取組みの実施
- 再生可能エネルギーの利用促進
- 公共施設の省エネルギー化
- ごみ焼却余熱の有効利用

ごみ減量・資源化の推進

ごみの排出量削減に向けて、4Rや指定ごみ袋有料化制度の運用を継続します。また、資源化率の向上のため、ごみの分別や集団回収の促進、新たな資源化品目の検討に取り組めます。

- 4Rの普及啓発
- 指定ごみ袋有料制度の運用
- 集団回収の活動支援
- 新たな資源化品目の検討
- リユース事業の推進

関連する個別計画

- ▶ 生物多様性飛鳥地域戦略
- ▶ (容リ法※に基づく) 分別収集計画
- ▶ 檀原市地球温暖化対策推進実行計画
- ▶ 檀原市一般廃棄物処理計画
- ▶ 檀原市環境総合計画
- ▶ 檀原市電力の調達に係る環境配慮方針

19. 生活環境

目指す姿

良好な生活環境で市民が暮らすことができるよう、まちの衛生が保たれています。

現状

- 市民の美化活動により、生活環境の維持が図られており、こうした活動は地域コミュニティの醸成の観点においても重要な役割を果たしています。

- 市民の生活環境を保全し、公衆衛生を維持するために欠かすことのできない業務として、ごみ処理を行っており、効率的かつ継続的な業務の実施を図っています。これまで処理が滞ったことはありませんが、少子高齢化等、ごみ処理を取巻く社会情勢は変化しています。

- 市民の生活環境を保全し、公衆衛生を維持するために欠かすことのできない業務として、し尿の処理を行っており、効率的で継続的な業務の実施を図っています。下水道や合併浄化槽の普及により生活排水処理率は上昇傾向にありますが、まだ未整備のまま残っている汲取り便槽※や単独浄化槽※では生活排水が未処理のまま公共用水域※へ放流されています。

課題

- 今後も市民の自発的な美化活動を支援していくことが求められます。

- 処理施設の安定運営をはじめとした、安定したごみ処理体制を維持することはもちろんのこと、福祉的な視点も加え、多角的なアプローチの検討を続けることが必要です。

- 汲取り便槽や単独浄化槽が未だに存在するため、さらなる生活排水処理の改善に向けて、下水道や合併浄化槽※の普及促進を継続していく必要があります。



クリーンセンターかしはら

関連する
SDGs



成果を測る指標

衛生的に暮らすことができていると感じる市民の割合

実績値 : 63.7%

取組みの方向性

方向性の説明

取組み例

地域美化活動への支援

より多くの市民や団体及び事業所等に環境美化活動へ参加してもらうよう、周知・啓発に努めるとともに、啓発の看板やボランティア袋の配布を通じて活動を促進します。また、地域の悪臭や騒音の原因者への指導等を通じて、公害の発生を防止するほか、不法投棄の発生を抑制する活動を促進します。

- 地域美化活動への支援
- 美化活動に関する啓発
- 地域清掃活動への支援
- 公害苦情への対応
- 不法投棄の発生抑制活動の実施

安定的なごみ処理の実施

市民のニーズに対応しつつ、安定的にごみ処理をできるように、業務体制の管理を行います。また、定期的なメンテナンス、搬入量に応じた計画運転により、処理施設を安定的に運営します。

- 廃棄物処理施設の計画的運営
- 処理体制の安定的な運営
- 社会状況に対応したごみ収集体制の充実

生活排水処理率の向上

下水道が計画されていない区域において、生活排水の処理も行う合併浄化槽への転換を促進します。

- 合併浄化槽設置への支援

関連する個別計画

- ▶ 檀原市一般廃棄物処理計画
- ▶ 檀原市環境総合計画

- ▶ 循環型社会形成推進地域計画

20. 下水道

目指す姿

適切な汚水処理により、市民が衛生的な生活を送っています。

現状

- 適切な汚水処理は、市民生活にとって重要な公共基盤ですが、下水道施設についても老朽化が進んでいます。また、近年大規模な自然災害が相次いで発生しています。
- 公共下水道は汚水の処理により生活環境の改善・公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全などの役割を担っています。

課題

- 適切な施設の老朽化対策や更新、継続的かつ安定的なサービスの提供のために、経営基盤の強化が求められています。奈良県広域水道企業団との連携した取組みも求められています。また、災害等の不測の事態に際し、的確な初動活動ができる体制を確立することが必要です。
- 公共下水道の普及率向上に向けた整備を行うとともに、下水道施設を適切に維持管理することが求められています。



下水道工事の様子

関連する
SDGs



成果を測る指標

安心して公共下水道を利用できていると感じる市民の割合

実績値 : 66.3%

取組みの方向性

経営基盤の強化

方向性の説明

持続可能な下水道事業を展開するため、経営基盤の強化に取組みます。適正に下水道使用料を設定しつつ、収納率の向上にも取組みます。

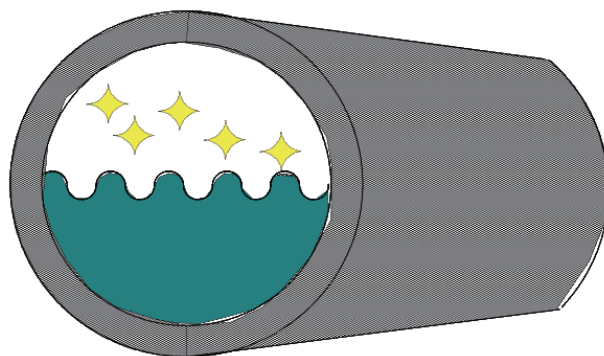
取組み例

- 適切な分納相談
- 収納業務や訓練等に関する奈良県広域水道企業団との連携

未普及地域への計画的な下水道整備と適切な維持管理

公共下水道の普及を促進します。また、ストックマネジメント※計画に基づき点検・調査を実施し、計画的かつ効率的に施設管理を行います。

- 計画的な下水道施設整備
- 未利用者への勧奨
- 管路カメラ調査による維持管理



関連する個別計画

- ▶ 社会資本総合整備計画
- ▶ 橿原市下水道事業経営戦略

- ▶ 橿原市公共下水道事業ストックマネジメント計画